

コンテンポラリーダンス



上村なおか（うえむら なおか）／ダンス（写真左）

金沢生まれ。お茶の水女子大学舞踊教育学科在学中から木佐貫邦子に師事、木佐貫主宰néoの創立メンバーとして、数多くの作品に出演。また、笠井叡のダンス講座に参加、以降笠井作品にも多数出演している。
06年5月日韓ダンスコンタクト・ソウル公演、9月日本公演でソロを発表。
05年度から、桜美林大学総合文化部非常勤講師を務める。

笠井瑞文（かさい みつたけ）／ダンス（写真右）

東京生まれ。97年からダンスを始め、サンフランシスコ舞踊フェスティバルに出演。その後、山崎広太門下に入る。05年世田谷美術館のトランスエントランスシリーズの第一弾として「ジギーに憧れて」を上演。同年秋にはリトル・アジア・ダンス・プロジェクトに日本を代表して参加、ソロ作品「doll」をシンガポール・ソウル・台北・香港・東京にて上演。父は「舞踏」創始者の1人であり笠井叡。

今 コンテンポラリーダンスは舞台表現としての面と同時に、教育機関や障害者が自分で表現する力を付けるための手段として大きな広がりを見せています。

このコミュニケーションツールとして使われているコンテンポラリーダンスがいよいよ平塚に初登場することになりました。そこで、今回出演される2人のアーティストにお話を伺いました。

コンテンポラリーダンスって一口で言うと「どんな動きもダンスになり得る」ということです。

——上村さん、コンテンポラリーダンスがにわかに活気を帯びていますが、コンテンポラリーダンスって一口で言うと？

上村／ひとことで言うならば、「どんな動きや形もダンスになり得る」という事のもとに行なわれているダンスでしょうか。決まったルールや様式がない分自由ではありますが。またその分、難しさもあるように思います。

——笠井さんのお父さんは、「舞踏」創始者の1人である笠井叡さんですが、コンテンポラリーダンスを始めたのは、お父さんの影響ですか？

笠井／10代の頃、よく父親の職業欄を書く時に、父からは「舞踏家」と書けと言われていたのですが、父は合気道も教えていたのですと「武道家」と勘違いしていたほど父の職業に関してはよくわかっていませんでした。私がダンスを始めたきっかけは、ナインティナインの岡村隆がある番組でブレイクダンスを踊っているのを見てブレイクダンスを始めたのがダンスを始めたきっかけです。その後色々なダンスに触れ、父の弟子でもある山崎広太さんにコンテンポラリーダンスを習い始めました。

私たちが紡ぎだす時間や空間を皆さんに見てもらいたい。

——上村さん、3月16日の平塚公演では、どんなことに挑戦してみたいですか？

上村／毎回、どこでどのように行なわれる公演も自分にとっては挑戦ですが、平塚の公演では二人の身体が紡ぎだす時間や空間が見ているお客様に届くようにと願っています。また、今回はピアノの生演奏ですので、さらにライブの「今、ここで」しか味わえないものを共有できる公演にしたいです。

身体って手をかけると、かけた分だけ還ってくるんです。

——上村さん、平塚市民の皆さんを対象にワークショップを2日間やりますが、目指すものはどんなものですか？

上村／いつもワークショップで私が言っているのは、身体って手をかけてやると、かけた分だけ還ってくる、ということです。自分の身体を改めて観察することで、あらたな発見が少しでもあればいいと思います。また「ダンス」という言葉がもつイメージをとらえ直すチャンスになると嬉しいです。

たくさんの出会いが人生を変えます。

——笠井さん、平塚市立大洋中学校や進和学園でのワークショップ活動を計画していますが、どうしてそのような活動をしようと思われたのですか？

笠井／なかなか出会いがないとダンスというものに触れる機会がないですが、それにたまたま出会うことにより人生が変わるということもあると思います。良くも悪くも私もその出会いで人生が変わりました。こういう活動をする中で、出会いの機会が少しでも増えればと思います。

——平塚に来られるのを楽しみにしています。本日はありがとうございました。

コンテンポラリーダンス公演案内

2007年3月16日 平塚市民センターホール

- 開演 19:00 (上映時間約1時間)
- 入場料 (全席自由) 一般1,000円 高校生以下500円
- チケット取扱い/平塚市民センターほか好評発売中

ワークショップ案内

2007年3月12日～13日 平塚市勤労会館3階大会議室
18:30～(約2時間30分)

- 受講料 一般1,500円 高校生以下1,000円(2日間通し)
- 対象 小学生以上、2日とも受講可能な方
- 申込方法 平塚市文化財団に電話で申し込み。

公演・ワークショップともお問合わせ/
平塚市文化財団 TEL 0463-32-2237

平塚市文化振興基金にご協力を!!

この基金は、芸術文化事業の企画・実施、市民の創造的文化活動に対する支援、文化情報の収集・提供等の事業を目的に積み立てられています。趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

今年度平塚市文化振興基金にご協力いただいた方(敬称略)(平成18年11月から平成19年1月まで)

- 竹遊会 (18.12)



発行//平塚市(文化行政推進室) ●お問い合わせ及び寄付金のお申し込み

〒254-0045 平塚市見附町15-1



TEL 0463-32-2235 FAX 0463-31-6466